

表1 アンケート結果:「はい」と答えた人数と割合

アンケート内容		通院継続群 (%) 662名	通院中断群 (%) 25名	p
糖尿病に関する知識	1. 自分は糖尿病だと思う	611 (92.3)	22 (88.0)	NS
	2. 自分の血糖値やHbA1cを知っている	598 (90.3)	21 (84.0)	NS
	3. 糖尿病の診断基準を知っている	517 (78.1)	21 (84.0)	NS
	4. 身内に糖尿病患者がいる	377 (56.9)	14 (56.0)	NS
	5. 自分の行動で血糖値が変動すると思う	591 (89.3)	24 (96.0)	NS
	6. 現在の食事・運動療法で糖尿病がコントロールできていると思う	356 (53.8)	15 (60.0)	NS
糖尿病に関する心理	7. 糖尿病に対して漠然とした不安がある	461 (69.6)	20 (80.0)	NS
	8. 糖尿病の食事療法はつらいと感じる	236 (35.6)	10 (40.0)	NS
	9. 糖尿病の運動療法はつらいと感じる	210 (31.7)	5 (20.0)	NS
	10. 糖尿病であるがために制約されている	295 (44.6)	12 (48.0)	NS
	11. 糖尿病は医師に任せておけば大丈夫と思う	135 (20.4)	6 (24.0)	NS
通院に関する心理	12. 体調が良いので通院する必要はないと思う	55 (8.3)	4 (16.0)	NS
	13. 通院するのが面倒だと思う	152 (23.0)	7 (28.0)	NS
経済的、時間的な問題	14. 診療代や薬代が経済的に負担になる	352 (53.2)	9 (36.0)	NS
	15. 仕事が忙しく通院の時間が作れない	111 (16.8)	9 (36.0)	p<0.01
	16. 交通の便が悪く、通院が困難である	38 (5.7)	4 (16.0)	p<0.05
社会的支援状況	17. 通院が困難な理由に家族の協力が得られないことが関与している	22 (3.3)	3 (12.0)	p<0.01
	18. 家族に病気のことを話している。	625 (94.4)	25 (100.0)	NS
	19. 家族に病気のことを知られると立場が悪くなる	41 (6.2)	2 (8.0)	NS
	20. 医師や医療スタッフの対応に不満がある	8 (1.2)	2 (8.0)	p<0.01